

常任委員会等の構成

◎委員長 ○副委員長

委員会名	所管事項	氏名
総務委員会 (定数 8 人) 平成17年11月7日から	総務部、企画財政部、会計課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、議会事務局の所管に属する事項、他の委員会の所管に属さない事項	◎宮澤 孝治 ○丸山 祐之 宮下 明博 本郷 敏行 吉田 満男 高山 喬樹 下里喜代一
環境経済委員会 (定数 7 人) 平成17年11月7日から	市民環境部、産業観光部、農業委員会の所管に属する事項	◎浅川 保門 ○濱 昭次 青柳 圭二 高山 一榮 西澤 韶修 等々力 等 草深 温
福祉教育委員会 (定数 7 人) 平成17年11月7日から	健康福祉部、福祉事務所、教育委員会の所管に属する事項	◎平林 徳子 ○藤森 康友 黒岩 宏成 山田 高久 松澤 好哲 小林 純子 松森 幸一
建設水道委員会 (定数 6 人) 平成17年11月7日から	都市建設部、上下水道部の所管に属する事項	◎藤原 廣徳 ○小林 紀之 大月 晃雄 栗原 定美 青柳 吉宏 松尾 宏
議会運営委員会 (定数 8 人) 平成17年11月7日から	議会の会期及び議事日程等議会運営上必要な事項	◎栗原 定美 ○高山 喬樹 青柳 圭二 大月 晃雄 平林 徳子 藤森 康友 松澤 好哲 濱 昭次
議会広報特別委員会 (定数 10 人) 平成17年11月24日から	「安曇野市議会だより」の編集及び運営に関する事項	◎小林 純子 ○黒岩 宏成 本郷 敏行 下里喜代一 西澤 韶修 草深 温 等々力 等 大月 晃雄 青柳 吉宏 藤森 康友

第二回臨時議会

平成17年第2回臨時議会が11月24日に開かれ、市長より議案2件、議員提案により議案1件が提出され、原案どおり可決しました。

また、松本広域連合議会議員、穂高広域施設組合議会議員、安曇野・松本行政事務組合議会議員、松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員、安曇野松築広域環境施設組合議会議員、川手学校給食共同調理組合議会議員の各選挙が行われました。(議案の審査結果は6頁をご覧ください)

人事案件
監査委員の選任について左記の3氏に同意しました。

轟 孝三 氏
横山 実 氏
青柳圭二 氏

12月定例会 市長所信表明

「五つの流れを一つの豊かな流れに」
早期一体化を目指す



安曇野市長
平林 伊三郎

早期一体化を目指し
六つの具体的目標を
実施したい

行政の効率化と健全財政の維持

少子高齢化と人口減社会の現実化、国際競争力の激化により、経費負担増の構図となってくる。組織・機構を見直しながら、検討を重ねて参りたい。
財政管理運営に当っては、事業の緊急度・優先度を勘案し、自主財源の安定確保と経常経費の節減に努めたい。

自然環境と景観の保持、生活・経営基盤の強化

乱開発を防ぎ、景観と環境に配慮した秩序ある「まちづくり」を目指し、一定のルールを定める必要がある。早期に安曇野市環境基本計画を策定したい。
安全面と景観に配慮した道路整備、下水道未整備区域の早期水洗化を目指す。

防災対策と組織育成強化は不可欠。自主防災組織・総合防災訓練など取り組む。

教育・福祉・子育て支援と交流

学校施設の改修や耐震化は急務。優先して行う。
地域福祉において質の高い心の豊さが満ちた地域社会を目指す。全市的な交通体制の実現を図りたい。
日赤病院改築は、18年度から具体的に取り組む。
ゆとりある子育てをサポートする環境を整えるのは、地域社会全体の課題である。具体的実施計画に取り組む。
地域には幾つかの都市と姉妹提携・友好交流がある。市民交流や地域起こしに積極的に継続をする。

自治能力の高い自治体づくり

地方の自己責任、自己決定の比率が高まっている。組織のストリム化、職員の適材適所配置と意識改革、行政評価システムの

導入、行政コストの削減などを図りたい。
本庁舎建設は、総合的に検討に入る必要がある。電子自治体の構築を進める。

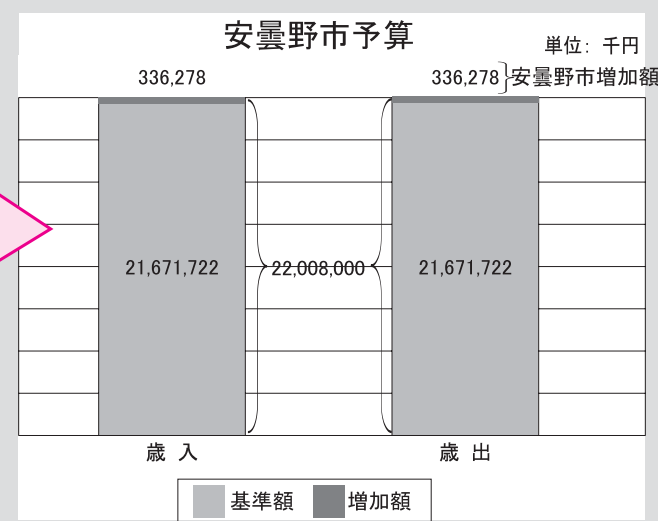
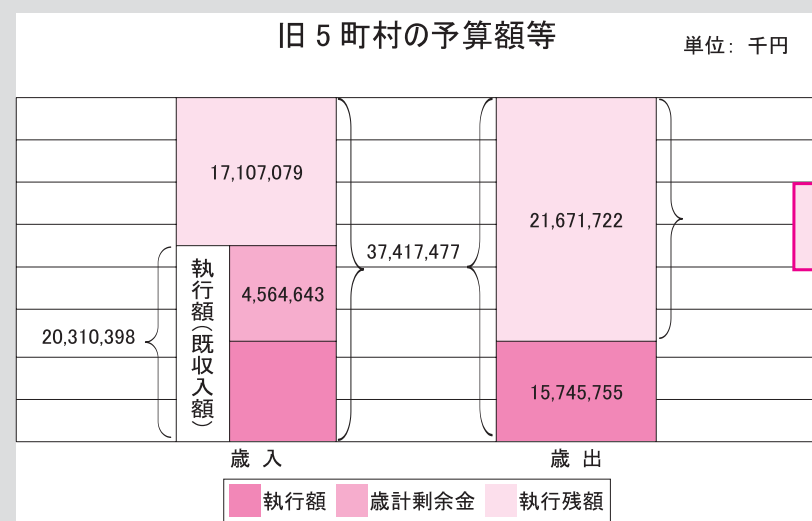
商工業との連携強化による事業の活性化

ベンチャー企業・ITコンテンツ企業の誘致、既存企業の育成に力をいれたい。住民生活に地元商店街は欠かせない。商工会との連携と活動に期待をしたい。周遊ルート・スポットの充実、滞在型観光の推進をしたい。

農業経営基盤の強化・充実

地域営農センターを核に、農業経営の支援強化、農産物の販売ネットワーク化、市場性の高い農産物の生産と安定供給並びに安曇野ブランド化の確立に努める。農産物直売所の販売システムは今後も重要な施策である。森林・里山環境整備と共に木質バイオマスの研究を進める。

平成17年度 安曇野市 一般会計予算の組み立て



平成17年度安曇野市予算については、合併による年度途中での予算となり、合併前の町村の予算及びこれに基づく事業も引き継いでいかなければなりません。
そこで、安曇野市予算については、①「旧5町村の予算残額の合算」を基本としつつ、②「安曇野市として必要な経費、及び旧町村から引き継いだ事務事業を行うために増額が必要な予算」を加えて編成することになりました。
①については、左のグラフの21,671,722千円の部分であり、②については、336,278千円の部分に当たります。
①に②を加えた22,008,000千円が、安曇野市としての予算になります。(提供：企画財政部財政課)